No.12
2018
２月20日号

高崎市ＰＴＡ連合会広報紙
たかさき倶楽部

Parent
Teacher
Association

～合言葉は～
つる舞う形の群馬県

か
関東と信越つなぐ高崎市
～全国つなぐ高崎市PTA～

日本ＰＴＡ関東ブロック研究大会群馬大会……Ｐ１～４
「上毛かるた」で育む高崎市の学校紹介……Ｐ５～６

第49回日本PTA関東ブロック研究大会群馬大会

自立した大人への架け橋

平成29年10月21日(土)22日(日)

音楽センターをはじめとした7ヵ所の会場で行われました。

全体会式典の様子

竹内実行委員長

富岡市長

大澤県知事

群馬県知事をはじめ、高崎市長・実行委員長より挨拶がありました

農大二高によるマーチングバンド

阿部祐二さんの記念講演

テレビリポーターでお馴染みの阿部祐二さんを招いての記念講演

プライベートのマル秘話やサプライズ発言もあり、会場は終始笑いに包まれていました。
また、高崎名産のスペシャルだるまもプレゼントされました。
お忙しい中楽しい講演をありがとうございました !!

誘　導　案　内

～雨天にもかかわらず関係者の皆さん！
終始笑顔でご協力ありがとうございました～

関東ブロック研究大会群馬大会（全体会）の参加感想

入野小PTA本部

鈴　木　良　恵

予想外の悪天候でしたが、会場内は沢山の参加者と活気あるムードで盛り上がっていたことに驚きました。岩村会長の素晴らしい挨拶から始まり、群馬県でのPTA活動の紹介や育児で抱える現代社会の問題点なども話されており、身が引き締まる思いになりました。

アトラクションの農二高校のマーチングバンドは大変素晴らしく心が震えました。ここまでに正確にかつイキイキと演奏する姿に感動し涙が溢れました。

記念講演の阿部祐二さんのお話では、レポータとして活躍する中でテレビでは放送できない裏話やその苦しさ、現場だから感じられる情報など、普段なら聞けない話を沢山してくださり興味深く拝聴しました。

関東ブロック研究大会群馬大会に参加させていただきとても勉強になり、有意義な時間になりました。この貴重な体験を今後の生活に生かせるよう過ごして行きたいと思います。この大会に携わった方々に感謝いたします。ありがとうございました。

入野小PTA本部

三　木　優　子

群馬大会、全体会に参加しました。私はこのような大きなPTA行事に参加するのは初めてです。「PTAの歌」もあり、たくさんの方々が大きな声で歌っていてとても驚きました。元気よく歌っているのは、私の前に座っていたお揃いのTシャツを着た新潟県新潟市の方々でした。皆さん一致団結しながら来年に向けて頑張っているんだなと感じました。

大会旗引き継ぎも無事終わり、次回開催地の紹介で新潟の良いところ楽しいところを聞いて、来年も参加したいなと思いました。PTA会員誰もが参加できるような大会になるといいなと思いました。

分科会の様子

第1分科会 組織・運営

会員相互が力を合わせ協力する豊かなＰＴＡ活動が理想です。子どもの手本となるべく、積極的自主的な参画が求められます。魅力あるＰＴＡにするための組織運営について学びました。

分科会	研究テーマ	基調講演者	参加人数
第１分科会（組織運営）	魅力ある参加しやすいＰＴＡ活動を目指して！	内藤聡氏	２５０人
第２分科会（環境）	自然環境の美しさ、素晴らしさに気付き、自然と人間が共生できる社会の実現に向けて！	出島誠一氏	１５０人
第３分科会（情報）	子どもたちに収集・判断・表現力等、適切な情報処理対応能力を育むために！	下村健一氏	３００人
第４分科会（家庭教育）	親と子の笑顔のコミュニケーション！	渡辺照子氏	３１５人
第５分科会（健康・食育）	未来を生き抜ける健康と元気を子どもたちに！	竹下和男氏	２４０人
第６分科会（安心安全）	安全対策、環境整備とともに、自分の安全を守れる子どもたちにするために！	藤本一雄氏	４００人
第７分科会（地域連携）	子どもたちをよりよく育てるための、学校・家庭・地域の連携のあり方について！	観野智可等氏	２７０人

第２分科会の感想

矢中中PTA　**澤入　公**

第２分科会の研究発表を聞いて、学校と地域の関係の大切さを実感しました。

矢中中学校でも開校当時より、『花づくりは心づくり、心づくりは人づくり』を精神に感性豊かな生徒の育成を目指して、33年間緑化活動（ペチュニア栽培）を行っています。

また、2000年より、ＰＴＡ・学校支援ボランティア（父の会、ペチュニアの会）・地域の方々も全校生徒をあげてのペチュニア栽培にご協力いただいており、2012年には内閣総理大臣表彰（緑化推進運動功労者賞）を受賞しました。

今後もこうした活動を通じて子どもたちの感性がより豊かになるように、学校や地域と連携しながらＰＴＡ活動に取り組んでいきたいと思います。

第2分科会 環境

子どもたちが未来に向けて自然を大切にするとともに、自然と人間がよりよく共生できる社会を目指せるよう、学校・家庭・地域ではどう自然とふれあう体験活動等を実施していくか、学びました。

第３分科会の感想

中居小PTA　**小林　理恵**

我が家の息子は小３の男子です。

好きな事は真剣に取り組むけれど、苦手な事はできればやりたくない…その一つに読書があります。物の見方・考え方・表現方法がいつも一方向からのような気がして、それは親から見ると気になる事の一つで、こういう考え方もあるよと伝えようとしてもなかなか届かず日々どうすればよいものか？悩む事も多いです。今回の下村先生のお話は情報の受け止め方、見極め方に４つの疑問を持とう！をテーマに授業形式で話が進められました。即断しない・う呑みにしない・偏るな・中だけみるな、この四つの頭文字を繋げると「ソウカナ」になります。そうかな？と疑問をもつ事によって見方や考え方も変わり、とても理解しやすく、楽しく聞く事ができました。

第3分科会 情報

多種多様な情報手段の正しい理解と活用を基に、豊かな表現・発信・相互理解ができ、情報社会に適切に参画できるようにするために、早急に家庭と学校でできる対策は何だろうか、学びました。

第5分科会 健康・食育

食や健康の不安が問題の現代社会で、明日の日本を担う子どもたちの心と体の健全育成が急務です。食育・健康教育の果たす役割は、家庭と学校で取り組むべきことは何だろうか、「弁当の日」の活動を通じて学びました。

第4分科会 家庭教育

子どもが幸せに自立することは、私たち親にとって共通の願いです。では、その実現に向けて私たちは日々どのように子どもたちとかかわっていけばいいのでしょう。会場の皆さんと共に楽しく考えました。

第6分科会 安心安全

地域の実情に合った安全対策を確立するとともに、子どもたちには安全に対する理解力・判断力・実践力を身に付けさせていくことが急務となります。学校・家庭・地域でできることは何だろうか、学びました。

第６分科会の感想

上室田小PTA　**加藤　弘朗**

第６分科会では、３つの学校や地区から発表がありました。すべての発表に共通していたことは、地域の実情に合わせ知恵を出し合い子ども達の安全を守っていることです。特に興味を持った取り組みは、ドローンによる見守り活動でした。長野の山間部の学校は、上室田小学校とよく似ています。ドローンで見守りとはいきませんが、地域で知恵を出し合い、いつでも安心して子ども達が過ごせる地域にしていきたいと思います。

ち力あわせる二百万

全体会と分科会で延べ4,000 人が集結し、大成功を収めることができました。

第7分科会 地域連携

子どもたちの健康で安全な生活を確保するためには、学校・家庭・地域並びに関係機関等と連携した地域社会活動の推進が大切です。よりよい連携のあり方について、学びました。

中居小PTA　**松田真由美**

食事や道を歩くなどにはルールがあり、小さい頃から学校や親などに教えてもらえるが、メディアに対してはルールがなく、人それぞれ多くの時間を費やしてる事に気付かされました。インターネットや雑誌、テレビのニュースなどは過大な報道もあるかも知れない。本当にそうなのかな？と思うことも大事で、見る立場が変われば見方も変わる、と臨機応変に考える事も必要だと思いました。

小学生の子をもつ一保護者として、多彩な見方をしつつ、和と輪をもって実のあるＰＴＡ活動を取り組めるように心掛けていきたいと思います。

高崎市の学校紹介

城東小

縁起だるまの少林山

創作だるまみこしの夏

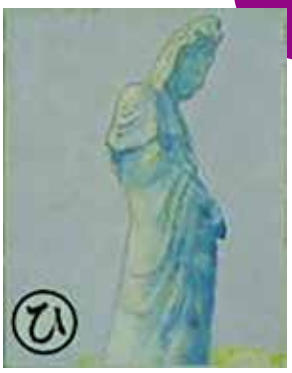
父親ネットワーク代表　内田　考洋

城東小学校の「だるま」と言ったら、父親ネットワークが行う創作だるまみこしです。学校の協力を得て全校からデザインを募集し、みこしを作って高崎まつりのコンテストに出場しています。今年度は130枚ものデザインが集まり、6年生の宮坂葉音さんの「ベジだるま」が選ばれました。

創作日は床いっぱいに絵の具を広げて野菜のスタンプをしたり、紙粘土で思い思いの野菜を作ったりしました。だるまの表面を飾るのはキャベツに見立てたスポンジ材です。みんなで一緒にペンキを塗った時の笑顔が印象的でした。作った素材を組み合わせ、最後に「オヤジたちのこだわり」を注入して完成です。自分の体よりも大きな作品をみんなで作り上げることは、子供たちにとって貴重な体験ではないでしょうか。

迎えた高崎まつり当日、「ワッショイ！ワッショイ！」と声が枯れるほどの勢いで、子どもたちがみこしを担ぎ、高崎の町を練り歩きました。「6年生で、最後となるだるまみこし。デザインが選ばれて、しかも最優秀賞のゴールデンだるま賞が貰えて嬉しかったです。いい思い出になりました。」葉音さんのコメントです。

片岡小



白衣観音慈悲の御手

片岡小PTA　池田　誠

白衣観音は片岡小学校の校歌の歌詞にも歌われているくらいとても身近な存在です。ふと振り向けば常に近くで優しく、あたたかく見守ってくれています。

夏の終わりに行われる「万灯会」の静のお祭りでは、小学校の子どもたちに灯ろうに願い事や絵を描いてもらい、観音様の周りに華やかに飾らせていただきました。地域のイベントでは白衣観音を拠点に、秋の散策や清掃活動なども行われています。

こんなに近くにいてくれることが心の励みや希望となり、「地域の母」として力強く背中を押してくれている気がします。

今日も笑って片岡の小学校を眺めてる。仰ぐ僕等もにっこりだ。

（片岡小学校校歌の一句より）

「上毛かるた」で育む

上室田小

登る 榛名の キャンプ村

上毛かるたの絵札では、美しい榛名富士と榛名湖が描かれています。この美しい自然環境のもとで今年度より行われている榛名林間学校。小学5年生が2泊3日または1泊2日で自然体験学習を行っています。

最初に行う登山では、榛名神社にて宮司さんから榛名神社の歴史などの話を聞きます。途中には長野堰の取水口があるなど、歴史と自然を感じながら登っていきます。夜になると子ども達が最も楽しみにしているキャンプファイヤーです。フォークダンスやレクリエーションで盛り上がります。最終日に行われる野外炊飯では、グループで協力してかまでご飯を炊き上げます。自分たちで作ったカレーとともに昼食をとり、榛名林間学校での生活が終了します。

●上室田小保護者の声

帰ってきた息子に「どうだった?」と聞くと、「楽しかった。」とすぐに答えが返ってきました。登山では、改めて自分たちの住んでいる地域の自然のすばらしさを感じたようです。私は一度も歩いて登ったことがないので、今度一緒に登ってみようと思います。

入野小

昔を語る 多胡の古碑

入野小PTA
福島　秋美

上野三碑は群馬県(上野国)高崎市内にある、飛鳥時代から奈良時代に建てられた漢文が刻まれた3基の石碑、山上碑・多胡碑・金井沢碑の総称です。日本に18例しか現存しない古代の石碑の中で最古の石碑郡。いずれも国の特別史跡に指定されており、2017年にはユネスコ世界の記憶に登録されました。

我が入野小学校6年の児童25人が社会科見学で多胡碑記念館に行きました。

覆屋で碑を見学した子供達は三碑のレプリカを集めて設けられた「上野三碑のへや」で説明を受けたり多胡碑に刻まれた80文字を探すゲーム感覚のラリーを楽しみました。

感動……そして感謝

高崎市ＰＴＡ連合会
会長　清水　久美

日頃からＰＴＡ活動へのご理解、ご協力にこの場をお借りして改めてお礼申し上げます。「明るく（Ａ）・楽しく（Ｔ）・前向きに（Ｍ）」をスローガンに掲げて会長職に就き、はや二年が経とうとしています。これまで、高崎市ＰＴＡ連合会に関わることで、たくさんの感動を与えてもらいました。関東ブロック大会に向けての結束力もさることながら、日常的な課題に対して全力で向き合う姿勢、ＰＴＡ活動に対する高い志等、その一員でいられたことに心から感謝しています。これまで活動を支えて励ましてくださった方々、本当にありがとうございました。

今後も高崎市ＰＴＡ連合会が、ますます実り多いものとなることを期待しております。

市Ｐ連ホームページ

各校のＰＴＡセミナーをホームページで紹介

ＰＴＡ活動に役立つ情報が満載

市Ｐ連のホームページ（担当:情報委員会HPグループ）では、各学校の様々なＰＴＡ活動の取り組みを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

また、ホームページへの掲載を希望する学校も随時募集しています。問い合わせは、市Ｐ連事務局（jimukyoku@takasaki-pta-net.com）へ。

高崎市PTA連合会ホームページ
http://www.takasaki-pta-net.com/

高崎　PTA　検索

QRコード

平成29年度　高崎市PTA連合会本部役員

会長	清水　久美	(長野郷中)
副会長	中澤　敏	(群馬南中)
	髙井　貴子	(大類小)
	清水あゆみ	(長野小)
	大澤　博史	(第一中)
	矢野　裕敏	(中居小)
	清水　幸子	(宮沢小)
常任理事	金田　等	(吉井西小)
	山崎　吉郎	(京ケ島小)
	岩井　真	(片岡中)
	御供　直起	(長野小)
	平田健太郎	(城東小)
	矢嶋　伸也	(高松中)
担当校長	竹中　直樹	(寺尾小)
	渡邉　幹夫	(榛名中)
監事	桂　健太郎	(高松中)
	磯　昭子	(吉井小)
参与	広瀬　雅美	(城東小)
	清水　孝	(榛名中)
	吉田　哲也	(新町中)
顧問	竹内一普	(第一中)
	神宮　嘉一	(中尾中)
	手島　茂樹	(東京福祉大学大学院教授)

編集：情報委員会　広報グループ

●グループ長
澤入　公（矢中中）

●副グループ長
福島　秋美（入野小）

●書記
飯島　英明（榛名中）
中村　理香（入野中）

●編集員
加藤　弘朗（上室田小）
小川　結子（群馬中央）
齊藤　利英（吉井西中）
阿久澤圭子（京ケ島小）
宮嶋　義和（矢中小）
町田　浩一（乗附小）
清水　幸成（南八幡小）
大河原政行（豊岡小）
多胡　文武（八幡小）
春山　孝之（城東小）
岸　千賀子（新高尾小）
岡野　光弘（東部小）
髙橋　一臣（中川小）
鷹野　普也（佐野中）
金子　秀昭（中尾中）
仲井　篤志（城南小）

編集後記

今回は、関東ブロック群馬大会の報告がありました。その他に「上毛かるた」で高崎に関係のあるＰＴＡ活動を募集しました。

「上毛かるた」は、発行七十周年に当たり、「地域かるた」として、全国的にも話題になっています。その中で、高崎関係の札を通じて、身近な高崎を、親子や身近な方と話をしてみてはいかがでしょうか。

また、広報紙編集に参加して頂いたＰＴＡ関係者の方々に感謝申し上げます。